

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東
 コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,296	5.0	16	△87.0	136	△37.6	81	△46.0
2022年3月期第3四半期	5,046	2.8	128	△45.6	219	△13.1	151	△5.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 68百万円 (△55.2%) 2022年3月期第3四半期 153百万円 (△22.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	19.59	—
2022年3月期第3四半期	36.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	5,805	2,062	35.5	494.11
2022年3月期	5,593	2,035	36.4	487.68

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,060百万円 2022年3月期 2,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	6.9	5	△95.1	160	△32.3	85	△46.4	20.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	4,179,000株	2022年3月期	4,179,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	9,877株	2022年3月期	9,877株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	4,169,123株	2022年3月期3Q	4,169,123株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動が正常化に向かう一方で、ウクライナ情勢の長期化による物価の高騰や為替相場の急激な変動など、依然として先行き不透明な状況が続きました。食品業界につきましては、原材料、包材、エネルギーなど様々なコストが上昇する中で消費者の節約志向へのシフトが進んでおり、厳しい事業環境となっております。

当社グループにつきましては、生産卸売事業の冷凍加工食品及び直販事業を中心に販売が堅調に推移したことや、製品の値上げ要因も加わり、売上高は増加しました。利益面につきましては、売上高の増加や段階的に進めている製品の値上げによる増益要因がありましたが、飼料等の原材料及びエネルギー価格の高騰によるコストアップ要因を吸収しきれず減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、52億96百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は16百万円（前年同期比87.0%減）、経常利益は1億36百万円（前年同期比37.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は81百万円（前年同期比46.0%減）となりました。（なお、営業利益が経常利益と比較して少額になっておりますが、これは、飼料価格の高騰時に備えた、国、飼料メーカー、生産者の積立金を財源とする、飼料価格安定基金からの補填金収入（1億10百万円）を営業外収益で計上していることが主な要因であります。）

セグメントの業績は次のとおりであります。

(生産卸売事業)

生産卸売事業につきましては、主な販売先である生活協同組合及び宅配会社において、冷凍加工食品の販売が堅調に推移したことや製品の値上げ要因により、売上高は増加しました。利益面につきましては、製品の値上げを段階的に進めたことによる増益要因がありましたが、飼料を中心とする原材料価格の高騰の影響により減益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、40億1百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は2億34百万円（前年同期比35.4%減）となりました。

(直販事業)

当社の食を中心とした安心・安全な食品を全国の個人の消費者に直接お届けする直販事業につきましては、会員募集費の積極的な投入により会員数が引き続き伸長し、売上高は増加しました。利益面につきましては、売上高の増加や値上げの効果に加えて、ピッキング等の業務の効率改善により増益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、12億95百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は80百万円（前年同期比136.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、2億11百万円増加し、58億5百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が3億14百万円増加したことによるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億85百万円増加し、37億43百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1億21百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、20億62百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高につきましては、前回予想に近い見込みであります。

利益面につきましては、飼料をはじめとする原材料価格やエネルギーコスト等が前回予想を上回って上昇したことにより、連結の営業利益は前回予想を下回る見込みです。

その一方で、飼料価格安定基金からの補填金収入（営業外収益）が前回予想を上回ったことに加え、国、県、市からの飼料価格高騰対策による支援金（営業外収益）が発生するため、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を上回る見込みです。

詳細につきましては、本日（2023年2月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	866,182	586,428
受取手形、売掛金及び契約資産	716,237	1,030,633
商品及び製品	239,628	200,197
仕掛品	239,594	323,218
原材料及び貯蔵品	205,750	280,776
未収入金	96,457	118,607
その他	75,158	66,166
貸倒引当金	△3,058	△2,494
流動資産合計	2,435,950	2,603,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,139,256	1,287,866
機械装置及び運搬具(純額)	447,056	435,489
土地	1,024,727	1,031,283
建設仮勘定	125,476	26,204
その他(純額)	110,921	114,626
有形固定資産合計	2,847,439	2,895,471
無形固定資産		
のれん	12,465	9,728
その他	21,455	19,716
無形固定資産合計	33,920	29,445
投資その他の資産	276,210	277,038
固定資産合計	3,157,570	3,201,954
資産合計	5,593,521	5,805,488
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,329	476,739
短期借入金	1,213,918	1,226,343
リース債務	7,943	6,506
未払法人税等	16,174	12,000
賞与引当金	41,806	66,726
その他	503,531	543,396
流動負債合計	2,138,704	2,331,710
固定負債		
長期借入金	1,035,199	1,024,376
リース債務	16,745	12,154
繰延税金負債	4,737	7,936
退職給付に係る負債	291,933	307,742
役員退職慰労引当金	70,764	59,249
固定負債合計	1,419,379	1,411,459
負債合計	3,558,084	3,743,170

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	704,041	744,018
自己株式	△5,880	△5,880
株主資本合計	1,965,752	2,005,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,453	54,280
その他の包括利益累計額合計	67,453	54,280
非支配株主持分	2,231	2,308
純資産合計	2,035,437	2,062,318
負債純資産合計	5,593,521	5,805,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,046,197	5,296,546
売上原価	3,723,161	4,052,005
売上総利益	1,323,036	1,244,541
販売費及び一般管理費	1,194,974	1,227,906
営業利益	128,062	16,635
営業外収益		
受取利息	132	136
受取配当金	1,315	1,225
受取保険金	—	2,741
補填金収入	87,338	110,486
補助金収入	2,460	4,969
その他	7,920	8,671
営業外収益合計	99,167	128,231
営業外費用		
支払利息	8,197	8,008
その他	—	119
営業外費用合計	8,197	8,127
経常利益	219,032	136,739
特別利益		
固定資産売却益	2,455	1,143
補助金収入	4,299	1,000
特別利益合計	6,755	2,143
特別損失		
固定資産売却損	974	1,464
固定資産除却損	833	1,137
固定資産圧縮損	4,299	1,000
鳥インフルエンザによる損失	—	4,689
特別損失合計	6,107	8,291
税金等調整前四半期純利益	219,679	130,591
法人税、住民税及び事業税	46,574	33,159
法人税等調整額	21,556	15,687
法人税等合計	68,131	48,846
四半期純利益	151,548	81,745
非支配株主に帰属する四半期純利益	241	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,307	81,667

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	151,548	81,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,602	△13,172
その他の包括利益合計	1,602	△13,172
四半期包括利益	153,150	68,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,909	68,495
非支配株主に係る四半期包括利益	241	77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	3,809,627	1,236,569	5,046,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	311,914	4,503	316,417
計	4,121,542	1,241,073	5,362,615
セグメント利益	363,058	34,145	397,203

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	397,203
のれんの償却額	△2,736
全社費用(注)	△266,404
四半期連結損益計算書の営業利益	128,062

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	4,001,134	1,295,411	5,296,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	356,565	3,359	359,924
計	4,357,700	1,298,771	5,656,471
セグメント利益	234,414	80,881	315,296

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
 （差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	315,296
のれんの償却額	△2,736
全社費用（注）	△295,924
四半期連結損益計算書の営業利益	16,635

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。